

## 特徴

### プログラムで 目指すこと

1. エグゼクティブの視座で経営を担える人材を育成する
2. 経営の上席として新しい潮流を総合的に学ぶ
3. トップリーダーとしてのリーダーシップジャーニーの第一歩を踏み出せる

### プログラムの 特徴

1. 京都大学の現役教授陣、優れたビジネス・アカデミア、第一級実務経験者や企業役員クラスとのネットワークの構築
2. 京都大学の教員や学生との産学交流機会の提供
3. 通いやすい東京での開催、普段なかなか経験できないコンテンツが体験できる京都での開催、オンラインでの開催を組み合わせた形式

## 概要

### KUEBP2021 [第2期] 募集要項 KYOTO UNIVERSITY EXECUTIVE BUSINESS PROGRAM

開講日程	2021年6月～2022年2月(9カ月) 基本は隔週金曜日3時間程度の講義とディスカッション(15時～、18時～の時間帯) 月1回程度土曜日に開催 合計25日間程度 ※その他適宜懇親会を実施 ※京都実施の場合は上記とは異なる時間帯
場所	オンラインまたは以下会場でのオンライン、オフラインミックスでの実施 ※東京丸の内(京都アカデミアフォーラムin丸の内、京都大学東京フイス)、または、京都大学吉田キャンパスまたは近辺 ※講義は諸状況を鑑みて、オンライン開催での実施への変更の可能性あり
定員	限定10～15名
対象	将来、トップマネジメント、全社経営を担うことが期待されている幹部候補者 ※取締役、執行役員クラス及びそれに準ずる経営層の方々
受講料	受講料250万円(税込) ※合計日数、および実施形態に伴って変更となる可能性があります。 ※交通費や宿泊費は含まれません。
問い合わせ先	京大オリジナル株式会社ナレッジプロモーション事業部(担当:川村・山口) TEL:075-753-7778 / Mail:kensyu@kyodai-original.co.jp
詳細・お申込	<a href="https://www.kyodai-original.co.jp/kuebp2021/">https://www.kyodai-original.co.jp/kuebp2021/</a>

■懇親会を含めた交流の場は中止になる場合があります。予めご了承ください。

■キャンセルについて

●受講キャンセルの場合、下記規定に基づきキャンセル料を頂戴いたします。

(1)開講日の21日前から8日前まで 受講料の30%

(2)開講日の7日前から4日前まで 受講料の50%

(3)開講日の3日前から当日まで 受講料の100%

ただし、お申込日を含む8日間以内にキャンセルのご連絡をいただいた場合は、開講日前日までのご連絡であれば、開講までの日数にかかわらず、キャンセル料は発生いたしません。

●受講者が一定数に達しない場合など、やむを得ず講座の開講を中止することがあります。

その場合、お支払い済みの受講料は返還いたします。(その他、規定についてはホームページをご覧ください)

■写真等の取り扱い

セミナーの様子は、写真・ビデオ撮影を行わせていただきます。また、撮影した写真・動画は、京大オリジナル(株)の広報手段、講演資料、マスメディア提供資料、書籍などに用いる場合があります。個人が特定されないよう加工することをご希望の方は、期間中にお申し出ください。

## KYOTO UNIVERSITY EXECUTIVE BUSINESS PROGRAM

KUEBP事務局 京都大学経営管理大学院 / 京大オリジナル株式会社

〒606-8317 京都府京都市左京区吉田本町 京都大学 国際科学イノベーション棟東館 4F

Tel. 075-753-7778

# FEATURES



## KYOTO UNIVERSITY EXECUTIVE BUSINESS PROGRAM

京都大学 エグゼクティブ・ビジネスプログラム  
2021 [第2期]

## マネージャーから真のビジネスリーダーへ

### PROGRAM CONCEPT

#### Knowing

これからの企業経営に  
必要な知識を深める

日本のMBAで唯一アイビーリーグのMBA(コーネル大学ビジネススクール)とDual Degree Programをもつ京都大学MBA。そのグローバルスタンダードから厳選したプログラムにより、ビジネスリーダーに不可欠な知識を深める。

#### Doing

現在より1つ上の経営者  
目線から企業経営を分析し  
方向性を定める

リーダーとして社長就任後、数年後に退任する際の社長退任演説というシミュレーションを想定し、経営の全体像を作りプレゼンテーションを行う。少人数グループでの議論を通じて、現在の中期経営計画と社会トレンドから将来の経営方針を定めると同時にプレゼンテーション能力を磨く。

#### Being

自己を磨き、リーダーとしての  
自分を見つめ直す

京都での日本文化体験や最多の日本人ノーベル学者を育成してきた京都大学の研究者による先端基礎科学の講話等を通じて、自己研鑽を行い、リーダーとしての自分を見つめ直す。

## ご挨拶

実務者から経営者へ。その壁を乗り越えることは容易ではありません。

マネージャーとして定められた役割を果たすことに留まらず、リーダーとして未踏の道へ組織を導いていける視座を持てるか。担当業務の視点を超えて、全社とステークホルダー全体を見渡す視野を持てるか。

優秀な実務者が経営者・リーダーとして育ちきらず、企業の持つ潜在力を生かしきれない例は枚挙にいとまがありません。

この高い壁を乗り越え、一人でも多くの強靱な経営者・リーダーが生まれるようサポートしたい。そして様々な業種・規模の日本企業がより強く、より速く、そしてより長く価値を生みだすことに貢献したい。その思いで、当プログラムは誕生しました。

経営の必須知識を、新しい環境に即した内容と不変の

定石部分の両面から再学習するKnowingパート。

知識を獲得するだけでなく、自分ごととし「使える」知識にするためのDoingパート。

そして、経営学の枠を超えて、大変動の時代に生きるリーダーとしての「軸」作りとなるBeingパート。

この3つを組み合わせることによってはじめて、本質的なビジネス・リーダー育成が可能となります。また、講師として参加する優れたビジネス・アカデミア、第一級の実務経験者、そしてビジネスを超えた広範な領域のリーダーの皆様。そして経営者予備軍として選抜された受講者の皆さん。この多様な参画者との交流とネットワークが、受講期間を終えた後も大きな価値をもたらすことも言うまでもありません。

強靱な経営者を目指し、人として強い軸を持つリーダーたらんとする皆さんの参加をお待ちしております。

にコロナ後の社会・科学技術・企業経営)、ESG、社会起業、デジタル化、デザインシンキングなどの新しい潮流です。

変わらないものを正しく理解し、変わりつつあるものに柔軟な対応をする。いまの事業と利益をマネージしながら、次世代のビジネスとバリューに思いを巡らせる。そのため講義を提供します。DoingやBeingとのシナジー効果もあります。

また、経営的な視点から、Knowing、Doing、Beingのシナジー効果を見出し言語化することにも意義があります。よろしくお願ひします。



プログラム長  
**御立 尚資** Takashi Mitachi  
京都大学経営管理大学院 特別教授  
京大オリジナル株 取締役  
ポストン コンサルティング グループ シニア・アドバイザー



プログラム長補佐  
**砂川 伸幸** Nobuyuki Isagawa  
京都大学経営管理大学院教授・教務系委員長

# TEACHERS

## 講師陣

### 充実の講師陣は京都大学の現役教員、優れたビジネス・アカデミア、第一級の実務経験者

<b>御立 尚資</b>	ポストンコンサルティンググループ シニア・アドバイザー 京都大学経営管理大学院 特別教授
<b>砂川 伸幸</b>	京都大学経営管理大学院 教授
<b>若林 直樹</b>	京都大学経営管理大学院 教授
<b>関口 倫紀</b>	京都大学経営管理大学院 教授
<b>野口 真人/ 山田 昌史</b>	(株)ブルータス・コンサルティング 代表取締役社長/常務取締役 京都大学経営管理大学院 特命教授/ 京都大学経営管理大学院 客員教授
<b>佐山 展生</b>	スカイマーク(株) 取締役会長 京都大学経営管理大学院 客員教授
<b>小林 潔司</b>	京都大学経営管理大学院 特任教授 京都大学名誉教授
<b>若林 靖永</b>	京都大学経営管理大学院 教授 CIEC(コンピュータ利用教育学会) 会長理事
<b>Spring H. Han</b>	京都大学経営管理大学院 准教授
<b>加藤 康之</b>	京都大学経営管理大学院客員 教授(京都大学ESG研究会座長) お金のデザイン研究所所長

※上記は予定です。変更になる可能性がありますので予め承知ください。

<b>山本 康正</b>	DNX Venturesインダストリーパートナー ハーバード大学 客員研究員
<b>岡田 紀子</b>	京都大学経営管理大学院 客員教授 シスメックス(株)コーポレートコミュニケーション本部長 兼 秘書室長
<b>倉林 陽</b>	DNX Ventures, Managing Partner / Head of Japan
<b>池坊 専好</b>	華道家元 池坊 次期家元 京都大学経営管理大学院 特命教授
<b>チョルバン・アスリ</b>	京都大学経営管理大学院 教授 NISSHA(株) 社外取締役、住友ゴム工業(株) 監査役
<b>山内 裕</b>	京都大学経営管理大学院 准教授 Representative-at-large, Academy of Management, Organization and Management Theory Division
<b>原 良憲</b>	京都大学経営管理大学院 教授 アサヒホールディングス(株)社外取締役
<b>松山 大耕</b>	妙心寺退蔵院 副住職
<b>幸田 博人</b>	京都大学経営管理大学院 特別教授 元みずほ証券(株) 代表取締役副社長

(講義の日程順で掲載)

## カリキュラム（予定）

### 本質的なビジネス・リーダーを育成するカリキュラム

<b>時代認識と価値創造マネジメント ファイナンスと企業価値評価</b>	世界の動向の変化、価値の変遷を改めて整理し、リーダーがなすべきことは何か?いかに変化を見極めるか?を考えます。また、価値創造と企業価値評価をどうつなげていくか、ファイナンス関連の知識と実践を学びます。 <b>テーマ</b> ：「時代認識とリーダーシップ」「価値創造経営と企業価値評価」「経営に必要なバリュエーションの知識」 担当講師：御立 尚資、砂川 伸幸、野口 真人/山田 昌史
<b>リーダーシップと組織</b>	リーダーシップと組織について、人的資源管理研究の最前線、実務家のM&Aの取り組みにも触れながら理解を深めます。また、アジア諸国の事情(歴史、社会、経済等)に関する研究に基づくアジアビジネスリーダー育成のポイントにも迫ります。 <b>テーマ</b> ：「人的資源管理と組織論の研究フロンティア」「M&Aとリーダーシップ」「アジアビジネスリーダーの育成」 担当講師：関口 倫紀、佐山 展生、小林 潔司
<b>マーケティング</b>	マーケティングの基礎である、顧客の問題を解決し、顧客の尊厳を満たすこと、顧客への思いやり(ホスピタリティ)を再考します。また、特に重要度が増している、統合的視点でのサービス価値創出に関するマーケティングを学びます。 <b>テーマ</b> ：「マーケティングとロジカルシンキング」「サービス・マーケティング(英語)」 担当講師：若林 靖永、Spring H. Han
<b>ESGとテクノロジーの潮流</b>	近年、企業経営にとって欠かせない、ESGなど非財務指標による企業価値向上に関する最新動向の知識と事例を学びます。加えて、海外、シリコンバレーの現状にも触れながら、テクノロジーの潮流など、最新のトレンドと今後の動向にも迫ります。 <b>テーマ</b> ：「ESG経営と投資家」「科学技術とビジネスのフロンティア」「事業会社のESG経営」 担当講師：加藤 康之、山本 康正、岡田 紀子
<b>新規と伝統:アントレプレナー</b>	新規事業関連(ベンチャービジネス、コーポレートベンチャーキャピタルと企業成長、アントレプレナーシップ)を学びます。また、リーダーとしての自分を見つめ直す機会として、日本の伝統(禅やいけばな)の体験、教養講座を行います。日本の伝統や創業1000年以上続く組織の歴史等にも触れながら、企業のサステナビリティへの示唆も行います。 <b>テーマ</b> ：「新規事業育成におけるCVCの役割」「アントレプレナー」「禅とリーダーシップ」「いけばなの美と哲学」 担当講師：倉林 陽、京都大学教員、松山 大耕、池坊 専好
<b>経営学の潮流 グループ経営・イノベーション・ サービスマネジメント</b>	グローバル経営、イノベーション、デザインシンキング、サービスマネジメントなどこれからの企業経営に必要な知識としての経営学の潮流を学びます。 <b>テーマ</b> ：「イノベーションとデザインシンキング」「サービスマネジメント」「大企業の多角化戦略とグループ経営(英語)」 担当講師：原 良憲、チョルバン・アスリ、山内 裕
<b>金融政策の動向と デジタル化の潮流</b>	デジタル社会は何をもたらすか、資本市場にどのような影響を与えるか、ポストコロナ時代のDX加速化は、どういう視点で行うべきか、Fintechも含めた金融のデジタル化や企業経営に影響の大きい金融政策についての見識を深めます。 <b>テーマ</b> ：「金融のデジタル化」「日米の金融政策」 担当講師：幸田 博人、その他外部講師、砂川 伸幸
<b>Doing、個別面談、その他</b>	「社長退任演説の作成」「リーダーシップと戦略、組織、ファイナンスをテーマにした個別面談」を通して、トップリーダーとしてのリーダーシップジャーニーの第一歩をいかに踏み出すか、本質的なビジネス・リーダーへの成長を目指します。 <b>テーマ</b> ：「社長退任演説の作成」「リーダーシップジャーニーの作成」「個別面談」(戦略、組織、ファイナンス) 担当講師：御立 尚資、砂川 伸幸、若林 直樹、関口 倫紀

※上記に加えて、京都大学総長や京都大学経営管理大学院長の講話、Beingにつながる人文科学や自然科学に関する講座、京都大学教員、学生との産学交流の機会も予定

<b>Knowing/Doing/Beingの統合としての成果</b>	
<b>1. 社長退任演説を作る:何をレガシーとして残し得たか、どう進めたか、何を積み残したか</b>	<b>2. リーダーシップ・ジャーニー・プラン(リーダーとして成長するための自己育成計画)を作る</b>
<b>■ ビジョンとその具現化策を「言葉」にする</b> <ul style="list-style-type: none"><li>● 自社の課題を高い視座で洗い出し、自分が手をつけるものを選ぶ</li><li>● 課題を解決し、どこへ辿り着くかを明示する</li><li>● 辿り着くまでの道のりはどのようなものか、何をどのように実行して辿り着くのか、を考え抜く</li><li>● 次世代の人たちの心を打ち、次の行動を促す「コミュニケーション」としてまとめる</li><li>● 前任者・後任者との「駆伝」の中で、自分の役割を位置づける</li></ul>	<b>■ Knowing領域で、鍛えていくべき分野とその具体策(ビジネスの内・外両面)</b> <b>■ Doing領域で、何を実行していくか。フィードバックをどう得て、どう活用するか</b> <b>■ Beingとして、自分らしいリーダーシップスタイルをどう作っていくか</b>

# Knowing/Doing/Being